

## せいめい望遠鏡 京大時間観測の公募

京都大学大学院理学研究科附属天文台 岡山天文台では、せいめい望遠鏡を用いた、京大時間内での観測提案を下記のとおり募集します。外国人研究者のホストの方は、必要に応じてお伝えください。

2021年9月30日

京都大学大学院理学研究科附属天文台長 一本 潔

### 記

#### 1. 観測利用期間と観測機器・観測モード：

2022年(令和四年)1月4日(火)～6月19日(日)の間の70夜相当

KOOLS-IFU (可視光面分光装置)

TriCCS (可視光三色同時撮像装置) (10 frame per second (fps)以上の高速撮像観測については、7.(f)を参照)

クラシカル観測モード、ToO 観測モード (観測中の観測者または申請グループメンバーが観測する) なお、今期も共同利用時間への ToO 発動はできません。

#### 2. 申請資格者：

宇宙物理学教室・附属天文台の教員 (含特定教員)

宇宙物理学教室・附属天文台所属の院生

宇宙物理学教室・附属天文台所属の研究者

宇宙物理学教室・附属天文台受け入れの白眉教員

連携教員のうち岡山の教員 (泉浦・前原・田實氏)

客員教員 (佐藤氏)

#### 3. ステータスレポート：

望遠鏡、観測装置の状態は、せいめい望遠鏡共同利用 Web ページ [http://seimei.nao.ac.jp/files/2022a/cfp2022a\\_st.pdf](http://seimei.nao.ac.jp/files/2022a/cfp2022a_st.pdf) をご参照ください。

#### 4. 申請に必要な書類：

##### 4-1)観測申請書

<https://www.kwasan.kyoto-u.ac.jp/general/facilities/okayama/researcher/kyotoobs/>

にあります。word 形式または LaTeX 形式のいずれかを用いてください。(日本語でも可)

##### 4-2)研究課題の科学的意義を記した文書

A4 で 2 ページ。概ね自由書式。日本語でも英語でも可。

4-3)観測天体の積分時間を計算した結果

KOOLS-IFU 或いは TriCCS の WEB ページ

<http://www.kusastro.kyoto-u.ac.jp/~kazuya/p-kools>

[http://www.kusastro.kyoto-u.ac.jp/~kazuya/p-triccs/TriCCS\\_exp\\_time\\_calculator.html](http://www.kusastro.kyoto-u.ac.jp/~kazuya/p-triccs/TriCCS_exp_time_calculator.html)

の Exposure Time Calculator (ETC) ページのコピー

4-4)観測天体の出現図

<http://catserver.ing.iac.es/staralt/> 等のコピー

以上の 4 種類の書類を用意すること。観測申請書と科学的意義は最終的には PDF にして下さい (下記)。(ETC と天体出現図もまとめて PDF にできればそのようにお願いします。)

5. 書類の提出方法 :

電子投稿のみ

観測申請書(PDF)、科学的意義(PDF)、ETC のコピー (PDF 等電子化したもの) を電子メールに添付して、seimei-kyoto@kwasan.kyoto-u.ac.jp へ送ること。

6. 申請締切日 :

2021 (令和三) 年 11 月 5 日 (金) AM6 時 (JST)

7. その他 :

(a)せいめい望遠鏡で取得したデータを占有できる期間は、データ取得後 18 か月となりました。但し、学位論文等の事情がある場合は、最大 5 年までこれを延長できるようにしました。必要に応じて申請書に記述してください。

(b) 申請された課題に対しては、京大内 TAC による評価を行い、観測日程は、せいめい小委員会と京都大学とによる協議・調整を経て、最終的に京都大学の責任において編成されます。

(c) 今期も、せいめい望遠鏡と観測機器はリスクシェアでの利用となります。そのため、状況次第で観測がキャンセルになったり、割り当て時期に偏りが生じたり、現時点での予想ステータスと実際のステータスが異なったりする可能性があります。あらかじめご承知おき下さい。

(d)ToO 観測を提案される場合は、観測実施体制を十分検討の上、申請してください。

(e) 研究代表者が大学院生の場合は、指導教員による内容チェックを受けておくことを強く推奨します。指導教員の承諾書は不要です。

(f)TriCCS による 10fps を超える高速撮像観測について

共同利用においては TriCCS を用いた高速撮像モード(fps が 10 以上)は使用不可となっています。(2021B では 1fps 以上の観測が不可でした。)しかし、京大内時間では高速撮像モードも使用可とします。その趣旨は、2022A においても、TriCCS チーム外の協力も得て、その性能評価をいくつかの科学目標について行うことです。従って、TriCCS チームとの共

同研究とし、チームから一定の支援を受けつつも、データの保存、データ処理・解析等は基本的に観測提案者（グループ）が行うこととします。TriCCS チームとしての受け入れ体制の問題がありますので、高速撮像での観測提案をする際には、TriCCS チームに事前にご相談ください。TriCCS チームとして、内容や体制を評価し、可能と判断されたものに限って、応募可とします。

TriCCS チームへの事前提案の締め切り：2021 年 10 月 15 日中

<http://www.kusastro.kyoto-u.ac.jp/~kazuya/p-triccs/index.html>

を参照し、観測提案の概要、フレームレート、総データの容量、絶対時刻精度等について、書いたものを以下に提出してください。（書式は特にありません）

前田啓一：keiichi.maeda\_atmark\_kusastro.kyoto-u.ac.jp \_atmark\_ はその記号にしてください

公募等の問合せ先

太田耕司 （TAC 委員長）

[ohta@kusastro.kyoto-u.ac.jp](mailto:ohta@kusastro.kyoto-u.ac.jp)